地方独立行政法人
那覇市立病院

楴 きざはし

2024.5
Vol. 37



日本形成外科学会・日本創傷外科学会
公式キャラクター
キズを治す妖精「なおるん」

形成外科特集
褥瘡対策チーム

形成外科の紹介

形成外科　科長　吉田 絵理　　医師　石原 昌平

形成外科について

形成外科をご存じでしょうか。聞いたことはあるけれど、どんな病気を治すのか、良く分からないという方もいるかと思います。

形成外科は体表面全体を診療対象とする外科の一領域です。診療内容は外傷・熱傷、先天異常、腫瘍、悪性腫瘍に関連する再建、瘢痕・ケロイド、難治性潰瘍、美容外科など広範囲に及びます（図1）。

眼科、耳鼻科、泌尿器科などの身体の場所（部位や臓器）別の診療科ではありませんので、全身の皮膚のできものの治療や顔面の骨折や肋骨などの手術もします。

あらゆる体表の〝キズ〟と〝瘢痕〟のプロフェッショナルであり、また身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、様々な手法や特殊な技術を駆使します。機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくする、いわば〝見た目をよくする〟ことによって、みなさまの生活の質〝Quality of Life〟の向上を目指しています。

けがや病気での変化は患者さん毎に状態が異なりますので、必然と治療法も異なってきます。いわゆるオーダーメイド治療となります。

形成外科で扱う疾患

けが・きずあと	けが やけど（熱傷） きずあと とこずれ（褥瘡）・難治性潰瘍 顔の骨の骨折 など	腫瘍	乳がん術後の乳房再建 頭頸部のがんに対する再建 皮膚・皮下の良性腫瘍 粉瘤 など
生まれつきの病気	早期癒合症 口唇口蓋裂 合指症 など	その他	顔面神経麻痺 加齢性眼瞼下垂 顎変形症 など
		美容外科	重瞼術 降鼻術 豊胸術 など

図1



日本形成外科学会・日本創傷外科学会
公式キャラクター
キズを治す妖精「なおるん」

対象疾患

当院の形成外科は2022年に開設された新しい診療科ですが、様々な疾患を対象としています。

1 新鮮熱傷（やけど）

皮膚に様々な熱源（熱い液体や金属、炎など）が接触することにより障害を生じた状態です。やけどは深さにより Ⅰ度、Ⅱ度、Ⅲ度の３段階に分類され、状態に応じ軟膏や創傷被覆材による治療やデブリードマン、皮膚を移植する手術（植皮術）など治療法を検討していきます。



2 瘢痕（傷跡）、瘢痕拘縮（ひきつれ）、ケロイド

瘢痕（＝きずあと）の線維成分が過剰に増殖すると、ケロイドや肥厚性瘢痕と呼ばれる状態になります。治療しないで放っておいたり、効果の少ない治療を続けた結果、瘢痕拘縮（ひきつれ）になることもあります。適切な時期に適切な治療を行う必要があります。当院では、放射線治療科と連携し治療を行っています。

3 悪性腫瘍およびそれに関連する再建

再建とは、けがや病気で失われた形態を復元する形成外科的医療になります。
当院では、耳鼻科・口腔外科領域のがんや乳がんの切除手術と同時にまたは手術後に「再建手術」を行っています。再建の方法は自分の組織または人工物を使用する方法があります。

4 顔面の骨折、顔面の外傷



「顔」には、頭部、額、目周辺、鼻、頬、耳、口と様々な部位があり、他の場所と違い顔は整容性が最も重視されるため、より慎重で専門的な機能と整容性を両立した治療が必要です。

5 先天異常



先天異常とはからだや内臓のかたち、はたらきに生まれつきある異常をいいます。
口唇口蓋裂や副耳、合指症などその他多くの先天異常があります。手術による治療を行う際には、成長に伴って生じた変化に対して追加の手術を要することもあります。

6 良性腫瘍



良性腫瘍には母斑（ほくろ、あざ）や粉瘤、血管腫などがあります。腫瘍によりいくつかの種類があり、その特徴や治療法が異なります。治療方法に関しては、必要に応じて、手術やレーザー治療、あるいは血管内治療といったものを組み合わせて治療をおこないます。

形成外科診療は、全身の体表面臓器に対して見た目はもちろん機能改善を目指すという、欲張りな診療科になります。

そしてまた、適応や方向性がA＝Bといった答えが定まっている手術が一つとしてなく、他職種メンバーと協力し合い、患者さんの状態や希望に合わせた一つのゴールを目指していくような診療科です。

当院では外傷（熱傷）、瘢痕形成、腫瘍切除後の再建（皮膚悪性腫瘍切除後の再建、乳房再建など）を診療対象の３本柱とし、先天異常や難治性潰瘍、しみ・しわ治療を中心とした美容的な相談も行っております。

7 褥瘡（床ずれ）、難治性潰瘍

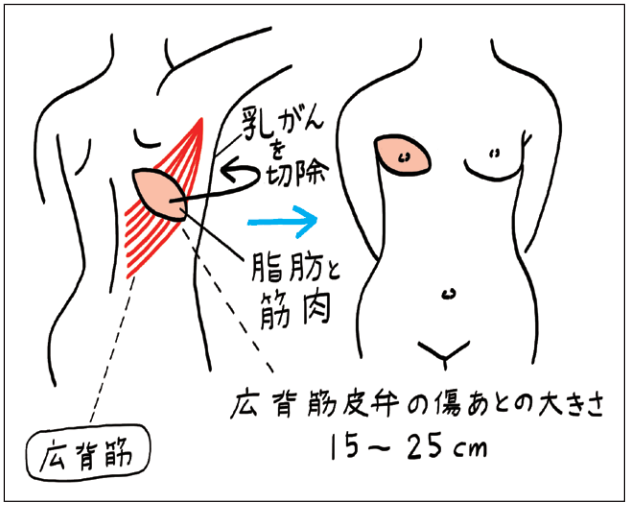
8 顔面神経麻痺

9 美容

…などがあります

症例紹介

乳房再建手術



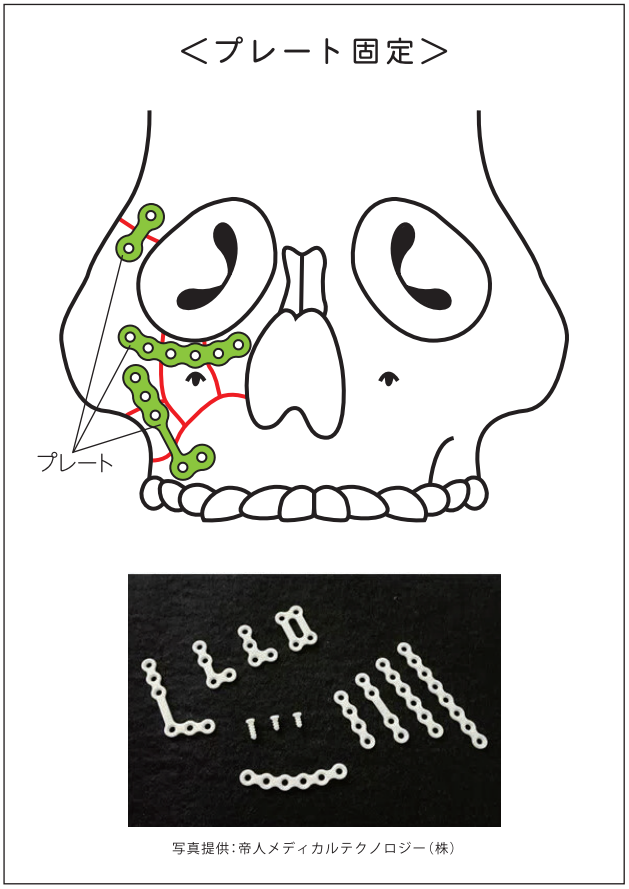
出典：『乳房再建手術Hand Book』NPO法人エンパワリング ブレストキャンサー／E-BeC

広背筋皮弁法（こうはいきんひべんほう）

背中の筋肉（広背筋）、皮膚、脂肪に血管をつけた状態の組織を胸に移植して乳房をつくる方法です。背中にはそれほど多くの筋肉や脂肪がないので、乳房のボリュームの少ない方に向いた方法です。

患者さん自身のからだの組織を使う「乳房再建手術」では、背中やお腹の筋肉と脂肪組織、またはお腹などの脂肪組織を乳房に移植する方法が一般的です。

頬骨骨折治療



写真提供：帝人メディカルテクノロジー（株）

頬骨骨折観血的整復固定術

治療は口腔内や下まぶた、眉毛外側から切開を行い、術後のキズあとが目立ちにくいように配慮します。折れた頬骨の位置を専用の器具で元の位置に戻し金属製のプレート、スクリューなどを用いて、周囲の骨と固定します。最近は、溶けて吸収される材料で作られたプレートを使うこともあります。

美容

当院ではIPL・光治療を行っています。キセノン光線治療器ステラM22を導入しており、患者さんの状態に応じて波長を変え治療することで、より効果的で安全性の高い治療が実現できます。目安として5回程度の治療を行うことで効果を感じることができます。

料金

カウンセリング料：¥3,168（税込）
施術料の例：全顔1回　¥9,900（税込）
＋再診料 ¥814（税込）
※保険適用外となっております

カウンセリング（初診）予約につきましては、お電話にて受け付けます。予約可能時間は15:00～17:00（平日）となっておりますので、時間内にお電話いただきますようお願い申し上げます。

問い合わせ：那覇市立病院 形成外科外来
TEL.098-884-5111（代表）



形成外科医師一同
（左から石原医師、吉田科長、吉岡医師）

チーム医療紹介

褥瘡対策チーム

褥瘡は、皮膚に圧迫やずれなどの外力が加わり血流障害や組織の変形がおこり発生すると言われています。加齢や疾患による活動性の低下、栄養状態の低下、失禁による皮膚の湿潤など様々な原因がきっかけとなります。

褥瘡ケアの基本は予防であり、我々褥瘡対策チームは入院されてくる患者さん全てに褥瘡発生リスクがないかアセスメントし、早期に予防対策を実施しています。



褥瘡対策チームの職種構成

褥瘡専任皮膚科医
皮膚・排泄ケア認定看護師（褥瘡管理者）
褥瘡専任看護師
薬剤師
管理栄養士
理学療法士
ドクターエイド
などで構成され毎週回診を行っています。

活動内容

院内の褥瘡予防ケアの環境整備やケア指導、また発生した場合には早期治癒を目指し介入しています。褥瘡予防対策に体圧分散エアマットレスを使用することは広く知られていますが、当院では2023年に患者さんの安眠を妨げず体圧管理を行うAI搭載自動体位変換機能付きエアマットレスを導入し活用しています。また重度褥瘡に対し陰圧閉鎖療法など専門的な治療を行っています。しかしながら、重度褥瘡の治癒には時間がかかります。適切な治療・ケアが地域でも継続できるよう転院先や在宅治療へつなげることが大切だと考えています。

スムーズな連携ができるよう、医療ソーシャルワーカーや退院支援看護師と情報を共有し、退院前カンファレンス、退院後訪問などを行っています。退院後の再発予防、また褥瘡を悪化させずその人らしく地域で過ごして頂けることを目標に活動しています。



新人研修・褥瘡予防ケア指導の様子



新任医師紹介



整形外科

儀間 朝太（ぎま ともた） 医師

沖縄県出身。琉球大学卒業。整形外科に入局後、10年ほど県内の様々な病院を移動しながら勤務してまいりました。趣味は植物育成、マリンアクアリウムなど様々です。人間関係が仕事をするうえで一番大事かと思っていますので、仲良く仕事をしてください。よろしくお願いします。



小児科

太田 亮（おおた りょう） 医師

沖縄県西原町出身。琉球大学卒業。福岡県千鳥橋病院で初期研修後、兵庫県立こども病院で小児科専攻医を経て、鳥取大学脳神経小児科にて2年間研修を行い、この度当院へ就職させていただきました。沖縄で引き続き学ばせていただきながら、内地で学んできたものも還元できることができれば幸いです。よろしくお願いいたします。



外科

森岡 弘光（もりおか ひろみつ） 医師

福岡県出身、青森県弘前大学卒です（卒後9年目）。琉球大学消化器腫瘍外科学講座所属で、4月から医局人事で入職となりました。これまでは沖縄県内の各総合病院で勤務していました。まだまだ未熟ですので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いします。趣味はスキューバダイビングで、県内を中心に潜っています。年一回はスカイダイビングなどで遊んでいます。皆さんの経験されたアクティビティなど、おすすめあれば教えてください。



内科

瑞慶覧 貴子（ずけらん たかこ） 科長

沖縄県西原町出身。琉球大学を卒業し、那覇市立病院で研修を積みました。その後は北部地区医師会病院、翔南病院、大浜第一病院などで勤務して参りました。主に虚血領域の循環器疾患を専門としています。地域の皆様のお役に立てるよう、丁寧な診療を心がけて参ります。よろしくお願いいたします。



麻酔科

平良 すみれ（たいら） 医師

沖縄県那覇市出身。琉球大学卒業。2012年に琉球大学麻酔科入局後、途中3年3ヶ月ほど南部医療センター・こども医療センターで勤務しましたが、それ以外は琉球大学病院で勤務してきました。手術を受ける患者さんや執刀する先生方が、安心できるような麻酔業務を日々努めてまいります。まだまだ未熟なところが多く、皆さんにご迷惑をおかけすることもあると思いますが、一生懸命頑張りますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



腎・泌尿器科

泉 恵一朗（いずみ けいいちろう） 医師

宜野湾市で育ち、那覇国際高校を卒業しました。琉球大学医学科25期生です。中部徳洲会病院で泌尿器科医としてスタートし琉大の腎泌尿器外科へ入局、これまで悪性腫瘍、腎移植などに注力して参りました。今年当院に導入されるロボット手術でも尽力できれば幸いです。座右の銘は「明けない夜はない」、好きな言葉は「棚からぼたもち」です。最近は車の運転とモノレールがいい気分です。どうぞ宜しくお願いいたします。



内科

親泊 優希（おやどまり ゆき） 医師

東京都出身、大学卒業後に沖縄県にきました。大浜第一病院で研修を修了し、このたび内科医として那覇市立病院に入職しました。趣味は美味しいものを食べることです。まだまだ未熟者ではありますが、沖縄県の医療を支えるため尽力していきますのでどうぞよろしくお願いします！



内科

与那覇 健（よなは けん） 医師

沖縄県宜野湾市出身で、昭和薬科大学附属高校を卒業しました。琉球大学医学部第32期生で今年4年目になります。初期研修を山口県宇部市で行い、現在琉大病院の内分泌代謝・糖尿病内科に所属し、今年度は那覇市立病院で研修させていただくことになりました。趣味はドライブやボウリングです。まだまだ未熟でご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが宜しくお願いいたします。



内科

米須 裕晃（こめす ひろあき） 医師

宜野湾市出身。高校は昭和薬科大学付属高等学校を卒業しました。福岡大学卒で、今年6年目になります。初期研修は中頭病院で行い、後期研修からは主に消化器内科をメインに研修させて頂きました。趣味は、甘党なので甘い物を食べることです。まだまだ未熟でご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。



小児科

當間 香南子（とうま かなこ） 医師

沖縄県沖縄市出身。新潟大学卒業。沖縄赤十字病院で初期研修、兵庫県立こども病院で後期研修をしてまいりまた。趣味は旅行で、自然や温泉などのんびりとする旅行が好きです。こども達の笑顔のために精一杯がんばります。よろしくお願いします。



内科

上間 道仁（うえま みちひと） 医師

内科 専攻医の上間 道仁と申します。初期研修に続き再びお世話になります。半年と短い期間ですがよろしくお願いいたします。新病院の完成に間に合わないのが少し残念です。



内科

宮城 郁（みやぎ かおる） 医師

沖縄県中城村出身で、沖縄尚学、琉球大学卒業。中頭病院で2年間初期研修してまいりました。趣味は、ゴルフや旅行をすることです。内科専攻医として那覇市立病院、那覇市の医療に貢献できるよう精進してまいります。宜しくお願いします。



外科

銘苅（めかる） 正行（まさゆき） 医師

沖縄県出身。琉球大学卒業。卒業4年目、外科専攻医2年目として那覇市立病院で勤務させていただくことになりました。様々な症状に寄り添う診療を心がけてまいります。先生方のお力をお借りしながら頑張りますのでよろしくお願いいたします。



形成外科

石原（いしはら） 昌平（しょうへい） 医師

沖縄市出身。昭和薬科大学附属高校卒業。琉球大学医学部33期、卒後6年目で形成外科を専攻しています。琉球大学形成外科入局後ハートライフ病院、琉大病院で勤務してまいりました。
再建等で他科の先生方にはお世話になると思いますがご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。趣味はトレイルランニングです。



放射線科

伊波（いは） 絵里奈（えりな） 医師

沖縄県うるま市出身。琉球大学卒業。琉球大学放射線科入局後、琉球大学病院で勤務しておりました。趣味は音楽鑑賞です。放射線科という縁の下の力持ちとして地域の皆さまの健康の支えになれるよう日々精進して参りますので、よろしくお願いいたします。



初期研修医

大西（おおにし） 竜斗（りゅうと） 医師

沖縄県名護市出身。沖縄尚学高校卒業。川崎医科大学出身です。小学校中学校時代は野球部、高校ではバスケ部、大学ではフットサル部に所属していました。一生懸命頑張りますので、これからよろしくお願いいたします。



初期研修医

神谷（かみや） 理菜（りな） 医師

糸満市出身。昭和薬科大学附属高校卒業。金沢医科大学から来ました。大学ではバレーボール部に所属していました。まだ趣味ではありませんが、数回経験して楽しいと思ったダイビングに定期的に行けたらと思っています。何事にも一生懸命に努めます。ご指導よろしくお願いします。



眼科

我謝（がじゃ） 朱莉（あかり） 医師

沖縄県出身。琉球大学卒業。琉球大学病院眼科に入局後、主に大学病院にて勤務してきました。今年度5年目になります。様々な疾患に対応出来るよう、那覇市立眼科を楽しく頑張って参ります。
まだまだ未熟ですが宜しくお願いします。



初期研修医

大城（おおしろ） 朝子（あさこ） 医師

初めまして。4月から初期研修医としてお世話になっております大城朝子と申します。趣味は旅行です。ご迷惑をお掛けすると思いますが、1日でも早く一人前の医師になれるよう日々励みたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



初期研修医

大城（おおしろ） 健嗣（けんじ） 医師

はじめまして、4月から研修医1年目としてお世話になっております、大城健嗣と申します。那覇市泊出身、昭和薬科大学附属高等学校卒業、琉球大学医学部第38期生です。趣味は国家試験が終わってから、どハマりしているゴルフです。新人らしく元気に明るく頑張りますのでよろしくお願いいたします。



初期研修医

西澤（にしざわ） 秀人（ひでと） 医師

北九州市出身。福岡県立修猷館高校卒業。琉球大学第38期生です。高校まではヨット部、大学ではウインドサーフィン部に所属していました。趣味はキャンプやマリンスポーツをすることです。色々ご迷惑おかけすると思いますが、一生懸命精進していきますのでどうぞよろしくお願いいたします。



初期研修医

尾田（おだ） 全（ぜん） 医師

福山大学薬学部卒業。国際医療福祉大学医学部卒業。趣味はギター、DTM、卓球、ハンバーガー屋巡りです。沖縄に住むのは初めてで、分からないことが多く、ご迷惑をかけることがあるかもしれませんが、より多くを学び少しでも那覇市の医療に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



初期研修医

當山（とうやま） 貴大（たかひろ） 医師

沖縄県中城村出身、琉球大学医学部卒業／那覇市立研修医21期生の當山貴大です。趣味は筋トレで、パワーリフティングという競技をやっております。早く一人前になれるよう、精一杯努めてまいります。ご指導の程よろしくお願いいたします。



初期研修医

照屋（てるや） 菜々子（ななこ） 医師

那覇市出身、興南高校卒業。琉球大学医学部38期生です。趣味は旅行です。患者さんや地域に寄り添った医療ができるよう心がけてまいります。一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。





よろしく
お願いします



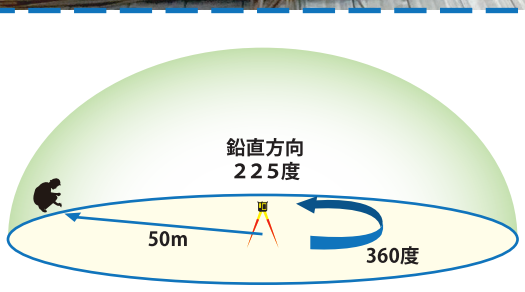
初期研修医

鈴木（すずき） 春南（はるな） 医師

大学ではバスケットボール部に所属していました。大学で沖縄に来て、沖縄の方々の温かさを感じ、とても素敵なところだと感じました。一日でも早く仕事を覚えて皆様のお役に立てるよう、努力してまいります。よろしくお願いいたします。

新病院建設工事現場でも使われています!!





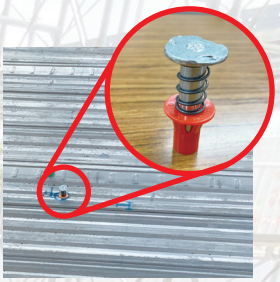
手元の端末から設計データを送信！
1人で配管・ダクト・電気設備などの墨出し作業が可能でスピーディーで効率的！



電子墨出し器で、目印をつけたあとは、インサートを取り付けます。

インサートとは、配管やダクトを天井から吊り下げるために、あらかじめ床部分のデッキや断熱材に取り付ける金具のことです。

新病院の建設現場は多くの業者が入るため、様々な色で設備の種類を区別しています。

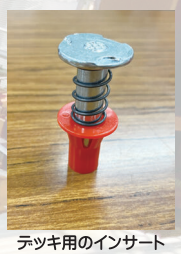


建築	黄色	空調配管設備(冷媒類)	紫色
衛生設備	青色	自動制御設備	白色
電気設備	赤色	医ガス設備	オレンジ色
空調換気設備(ダクト類)	緑色	消火設備	ピンク色

今回の取材では、電気設備に使用するインサートを実際に見てみました！



断熱材用のインサート



デッキ用のインサート

インサートを取り付ける素材によって、形が違います。

太さも様々ありますが、今回の建設現場一般的によく使用される3分ネジを使用しています。太さは、吊す重さ(吊り荷重)が重いほど、太いネジを使用します。

支持材



床部分のデッキや断熱材にドリルで穴を開けてインサートの取り付けをしたあとに下の階の天井側から支持材を通し、スリーブやダクトを吊り下げます。

インサートを打つ位置

レーザーで位置出し

新病院だより Vol.3

職人さんの手間が省ける

工期が短縮できる

新病院建設現場にある めずらしい材料や工具を一部ご紹介!!

その1 全フロアで大活躍“電子墨出し器”



建設工事では、必ず墨出しという作業が行われます。正確に建物を建設するにあたって、非常に重要な役割を果たしています。

墨出しとは

設計図面の情報を工事現場に反映させるための作業のことです。壁や床、天井に図面の内容どおりの線や寸法を記すことで施工の目印を作ります。設計図の内容を現場に原寸大で下書きしたものだと考えるとわかりやすいでしょう。

墨出しを行うことで、現場では「電気設備がくる」「空調設備がここにある」など、設計内容を具体的に把握することができるようになり施工がよりスムーズに進めることができます。



現代の墨出し（建築設備墨出しシステム）

本体を三脚に取り付け、電源を入れるだけで自動的に整準、水平出しに時間をかける必要がなく効率的な墨出し作業を可能にするシステムです！視認性の高いグリーンレーザーを採用されており、墨出し作業のスピードが大幅に向上します。

また、屋外での使用や精度の高い墨出も可能で、あらゆる状況に対応できます。

その2 地下1階床で使用されてる“断熱材”

型枠兼用断熱材であり、型枠が不要です！



型　枠

コンクリートが設計通りの位置や形状になるまで固めるために組む仮設物。コンクリートが固まったら撤去します。

断熱材

室内と室外の熱の移動（伝導）を遮断し、熱が室内に伝わりにくくする素材。新病院は地下1階が最下階であるため、床に断熱材を入れています。

特　徴

床（スラブ）をつくる場合、通常は型枠を敷いた後にコンクリートを打設しますが、**型枠兼用断熱材を使用することで型枠を敷く作業・撤去する作業が必要なくなり、工期短縮や職人さんの手間を除くことができます。**

通常の断熱材	型枠兼用断熱材
支保工（型枠を支えるもの）の建て込み	支保工（型枠を支えるもの）の建て込み
型枠の敷き込み	
断熱材の敷き込み	断熱材の敷き込み
鉄筋を組む	鉄筋を組む
コンクリートの打設	コンクリートの打設
支保工（型枠を支えるもの）の解体	支保工（型枠を支えるもの）の解体
型枠の解体	

この作業が不要になる！

手術支援ロボット

「ダヴィンチ」

を導入しました



ダヴィンチとは

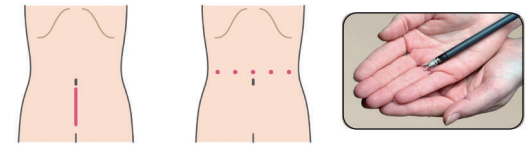
ダヴィンチは従来の腹腔鏡手術と同じようにいくつかの小さな切開部を作り、医師の操作に従って内視鏡・メス・鉗子を動かして手術を行う内視鏡手術支援ロボットです。

ダヴィンチは、低侵襲技術を用いて複雑な手術を可能とするために開発されました。高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像の下、人間の手の動きを正確に再現する装置です。医師は鮮明な画像を見ながら、人の手首よりはるかに大きく曲がって回転する手首を備えた器具(鉗子)を使用し、精緻な手術を行うことができます。

ロボット支援手術の特徴

1. 体への負担が少ない

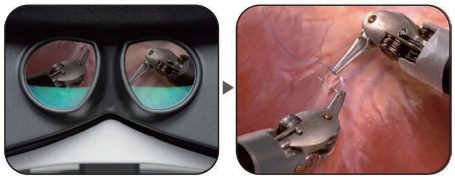
傷口が小さい
術中の出血が少ない
術後の疼痛が少なく、回復が早い
術後合併症のリスクが低い



開腹手術における切開部　　ダヴィンチ手術における切開部

2. 鮮明な3D(3次元)画像

コンソールモニターには高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの画像が映し出されます。



3Dモニターのビューア

3. 精密な動きを再現

医師がロボットアームに装着されている鉗子やメスを操作します。ダヴィンチの鉗子はリスト構造を持ち、人間の手より大きな可動域と手ぶれ補正機能を備えています。



当院では2024年6月から前立腺がん・大腸がんの手術において運用を開始していく予定です。
ダヴィンチで手術をお考えの方は、まずはかかりつけ医、主治医にご相談ください。

外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)

認証取得しました

昨年12月JMIPの訪問審査を受け、2024年3月25日に認証を取得しました。約７カ月の準備期間の中で、各部署の外国人患者対応マニュアル、通訳タブレットの配置（台数増加）、多言語の説明・同意書、院内表示、HP作成などの整備を行ってきました。

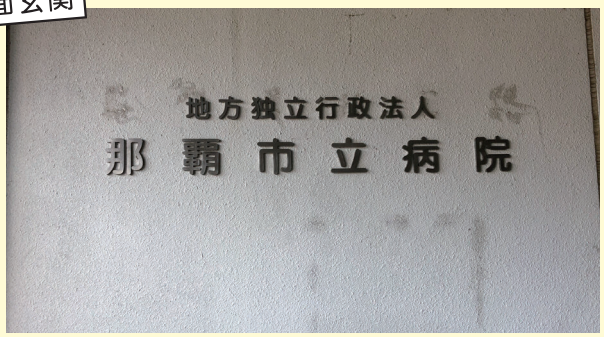
また、指さし表や英会話集など、現場が使いやすいコミュニケーションツールも併せて作成し、日本語が不慣れな外国人患者さんへ案内ができるような環境作りをしました。

この受審を通して院内全体で外国人患者受入れの方向性や目標を明確化し、さらに各部署の外国人患者対応の取り組みを共有できたことはとても大きな価値がありました。

これからますます日本を訪れる外国人観光客・住民は増加、多様化する中で、外国人患者さんにもより安心安全な医療の提供ができる病院を目指し今後も引き続き院内整備を進めていきます。

正面玄関

Before



After

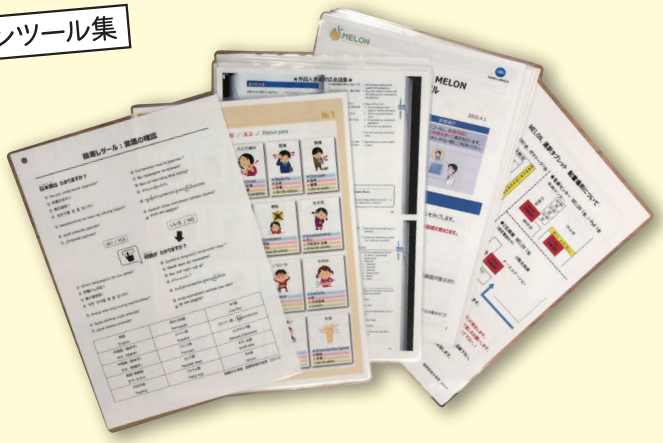


各部門場所案内





コミュニケーションツール集



認定証



当院は、2024年4月より日本胃癌学会「認定施設B」に認定されました



日本胃癌学会

認定施設認定証

日本胃癌学会認定施設B

地方独立行政法人那覇市立病院　殿

認定番号：　施　B024-207

認定期間：　自　2024年　4月　1日

至　2027年　3月31日

貴施設を　日本胃癌学会認定施設Bとして認定し本証を交付する。

2024　年　4月　1日

一般社団法人　日本胃癌学会

理事長　掛地　吉弘

近年、胃癌治療の進歩はめざましく、その内容は高度化・多様化・専門化しております。一方、ピロリ菌感染率の急速な低下もあり、今後胃癌の発生数は減少していくことが予想されます。このような現状を踏まえ、今後も質の高い胃癌治療を広く社会に提供していくために、日本胃癌学会により施設認定制度が発足されました。

胃癌に対する手術件数、内視鏡治療件数、化学療法件数の基準数を満たし、認定施設Bとして認定されました。

今後も地域がん診療連携拠点病院として、集学的治療を行って参ります。

キッチンカー出店しています

2024年4月より正面玄関のめばえ保育園側にてキッチンカーが出店しています。
日によって出店するキッチンカーが変わるため、色々な食事やスイーツを楽しむことができます。
職員や診察帰りの患者さんにご利用いただいています。



出店情報

●曜日：月・水・金
（祝日の場合を除く）※R6.5現在
●時間：11時00分から18時00分まで
●場所：病院正面玄関
めばえ保育園側

那覇市立病院からのお知らせ

2024年6月1日から
急病センター受診時にも
時間外選定療養費
7,700円がかかります
（※診療費別）

那覇市立病院は救急病院として沖縄県から指定されており、主に入院や手術などが必要な重症の患者の診療を行っています。
「時間外選定療養費」は、緊急受診の必要性が低い方にご負担いただくものです。みなさまのご理解とご協力をお願いします。
※救急車で来院された場合でも軽症と判断した場合は負担していただきます。

選定療養費とは、「初期の治療は地域の医院やかかりつけ医で、高度・専門医療は200床以上の病院で行う」という、病院と診療所の機能分担を推進する観点から厚生労働省により制定（法令：平成18年厚生労働省告示第107号）された制度です。

対象時間帯

●平日の16時から翌日8時
●土日、祝日、年末年始、慰霊の日の終日

上記受付時間帯に受診する場合、時間外選定療養費7,700円（税込）をご負担いただきます。

以下の場合は徴収対象となりません。

- 受診後に入院となった場合
- 労働災害、公務災害、交通事故
- 当院での診療中の疾患の症状増悪により時間外受診の必要があった場合
- 当院の医師より急病センター受診を指示された場合
- 急病センター担当医師が、緊急性があると判断した場合
- その他病院が判断した場合　など

詳細はHPをご確認ください

問い合わせ：那覇市立病院　☎884-5111

新規採用職員オリエンテーションを開催しました





2024年4月1日～2日にかけて新規採用職員オリエンテーションを開催しました。

総勢133名の医師、看護師、コメディカルスタッフ、事務職員が参加し、1日目にはマナー講習や医療安全、感染対策、診療報酬・DPC請求業務等の基本的な内容を幅広く学びました。

2日目には近隣の松島小学校の体育館を使用し、医師や看護師を除く、研修医、コメディカルスタッフ、事務職員30名でBLS（一次救命処置）研修を行いました。

胸骨圧迫、人工呼吸、ＡＥＤ の使用方法について医師から説明を受けた後、専門資格を有する看護師立ち会いのもと実践形式で実技研修を行いました。オリエンテーション終了後は各部署にて研修開始となります。今年度も気持ちを新たに職員一同励んでまいります。

臨床研修修了式

2024年3月25日に臨床研修終了式を行いました。

当院初期研修医（第19期生）5名と専攻医2名、琉球大学病院たすき掛け研修医1名が当院での研修を修了しました。指導医の先生方をはじめ、地域医療研修にご協力を頂いている各施設の皆様に、この場をかりて心より御礼申し上げます。今後ともご指導の程、よろしくお願い致します。



登録医紹介

当院の連携登録医を紹介しています

当院は病診連携を一層推進するために登録医制を設けております。オープンシステムも備えています。
お問い合わせは地域医療連携室まで！　TEL.098-884-5134（直通）　FAX.098-886-5502

安謝ファミリークリニック
（旧安謝小児クリニック）



診療科目

- ●内視鏡検査（胃カメラ・大腸カメラ検査）
- ●一般内科
- ●一般小児科
- ●一般健診（健康診断・特定健診）
- ●小児健診
- ●予防接種
- ●病児保育
- ●低身長相談

受付時間／曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前08:30～12:00	○	○	○	／	○	○	／	／
午後14:00～17:30	○	○	○	／	○	○	／	／

病児保育は木曜日もおこなっております。
休診日：木曜日、日曜日、祝祭日

院長　高良　吉迪

安謝ファミリークリニック　院長　高良良迪と申します。父が『安謝小児クリニック』の院長として長い間皆様のお世話になっておりましたが、親しんできた建物を離れ新築移転するにあたり新たに内科・消化器内科として私が加わり、子供からご年配の方までご相談いただけるようになりました。『安謝ファミリークリニック』と名称を変え、皆様に愛されるクリニックを目指し努めていきたいと思っております。

住所／那覇市曙2-9-2

TEL.098-869-0600

にじいろ眼科



診療科目

- ●眼科一般検査
- ●白内障
- ●緑内障
- ●糖尿病網膜症
- ●網膜血管疾患
- ●翼状片

受付時間／曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前8:30～11:30	○	○	○	○	○	○ 第2休診	／	／
午後13:30～17:00	○	手術	／	○	○	／	／	／

休診日：水・土曜日午後、第２土曜日、日曜日、祝祭日
※火曜日の午後は予約患者様のみ

院長　新垣　孝一郎

この度、浦添市経塚に新しく眼科クリニックを開院させていただくことになりました「 新垣　孝一郎 」と申します。琉球大学病院眼科学講座に所属し、様々な医療機関で研修を積み重ねてきました。特に豊見城中央病院では、10年以上にわたり眼科診療医長を務めました。その間、5,000件に及ぶ眼科手術の経験をしました。『見える喜びと安心』に貢献できるように、日々努力してまいります。目に関するお悩みがありましたら、お気軽にご相談下さい。

住所／浦添市経塚 786 番地　２階

TEL.098-943-8433



令和7年(2025)10月
那覇市立病院が生まれ変わります

新病院の概要



- 地上10階、地下1階、鉄骨鉄筋コンクリート造（免震構造）
- 床面積：約38,330㎡（現在より6,900㎡大きくなります）
- 病床数：470床（現在と同数です）
- 令和9年（2027）に駅から1階レベルを「ゆいデッキ」でつなぎます

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	新病院建設			新病院オープン	既存病院解体	第2立駐・デッキ・保育所建設	新保育所オープン

広報誌についてのご意見はこちらへ

地方独立行政法人
那覇市立病院

病院HP